

< 第1回 成果文書 >

インフラを賢く使うまちづくりのための東環利活用会議活動指針(平成28年7月)

- 1 東海環状自動車道の利活用に関する取り組み**
広域道路ネットワークの利活用状況や東海環状自動車道西回りが地域経済に与える効果を把握し、情報共有を図ることで、的確なまちづくり計画策定や更なる民間投資に繋がります。
- 2 インフラ整備のストック効果に関する取り組み**
アクセス道路や地域開発計画に関して情報共有を図り、更なる民間投資の需要を喚起するとともに、インフラ整備を見据えたストック効果を継続して把握し、同種の新規事業に期待される効果の予測に繋がります。
- 3 各種広報啓発活動等の実施**
インフラ整備のストック効果の情報提供活動を推進し、新たな地域開発に対する理解の醸成や、まちづくりに関する取り組みに対して容易に情報が検索できる仕組みを整備し、来訪しやすい環境を整えることで地域の活性化に繋がります。
- 4 工業、商業、農業、観光等の幅広い「生の声」の把握**
企業等の「生の声」を把握し、適切に対応することで企業等の生産性向上に繋がるとともに、関係機関が連携・協力し、まちづくりの課題解決に取り組み、より良い地域を目指します。

< 活動報告 (各種取り組み) >

ヒアリング調査の実施

20業種38社
(平成29年9月14日現在)

アンケート調査の実施

延べ1,173名
(平成29年9月14日現在)

ストック効果資料の作成

ヒアリング結果を踏まえ作成



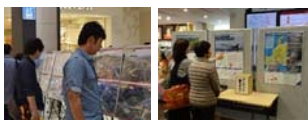
まちづくり未来マップの作成

定期的に更新予定
パンフレットにとりまとめ予定



パネル展の開催

延べ45箇所
(平成29年9月14日現在)
イベント、市役所ロビー等で開催
パネルリレーを開催中



ポータルサイトの作成

H29.3ポータルサイトを開設



会議等において情報交換

会議、WGにおいて実施
今後も適宜実施予定

約100名が参加



第2回 東海環状西回り 利活用促進会議

< 議事次第 >

- 開会挨拶
岐阜県 県土整備部長
岐阜県 養老町長
- 開催地挨拶
- 活動報告
- 意見発表
(1)川地 憲元 岐阜県 養老町 企画政策課長
(2)三輪 秀孝 いなべ市商工会 会長
(3)永瀬 章 岐阜県 岐阜長良川温泉旅館協同組合 専務理事
- 先進的まちづくり事例紹介
(1)池田 正幸 岐阜県 美濃加茂市 建設水道部長
(2)吉田 桂治 三重県 いなべ市 副市長
(3)宇佐美 晃三 岐阜県 大野町 町長
- 意見交換 『観光連携・まちづくりの取組について』
三重県 県土整備部長
- 閉会挨拶

◇日時：平成29年9月14日(木) 13:30~15:00

◇場所：養老町中央公民館 中ホール

【第2回東海環状西回り利活用促進会議 参加機関】

代表理事：岐阜県、三重県
理事：

(17市19町)岐阜市、大垣市、多治見市、関市、美濃市、羽島市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、本巣市、海津市、岐南町、養老町、垂井町、関ヶ原町、神戸町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、北方町、坂祝町、富加町、八百津町、御嵩町、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、東員町、菟野町、朝日町、川越町

(12経済団体) 大垣商工会議所、各務原商工会議所、羽島商工会議所、四日市商工会議所、桑名商工会議所、鈴鹿商工会議所、亀山商工会議所、桑名三川商工会、いなべ市商工会、東員町商工会、菟野町商工会、朝明商工会

オブザーバー：国土交通省中部地方整備局、中日本高速道路(株)名古屋支社

協力機関：岐阜県 岐阜長良川温泉旅館協同組合



第2回 東海環状西回り利活用促進会議 開催概要

<開会挨拶> 岐阜県県土整備部長



宗宮 裕雄

- ◇昨年8月の新四日市JCT～東員ICの開通に続き、本年10月22日には養老JCT～養老ICが開通します。さらに来年度は三重県で1区間、再来年度は岐阜県で2区間の開通が予定されています。
- ◇本会議は、西回り沿線自治体のまちづくりの支援、情報共有の場として発足し、昨年7月に第1回目の会議を開催しました。以降、企業へのヒアリングや一般の方へのアンケート調査等によるニーズ把握、ストック効果のパネル展示、まちづくり未来マップの作成、本会議のポータルサイトの作成などを行い、利活用の促進を行っています。
- ◇西回りの整備は着実に進んでいますが、開通の見通しが立っていない区間もあるため、今後も整備効果の発信等を行い、様々な機会を通じて早期全線開通に向けた機運を醸成していきたいです。

<開催地挨拶> 岐阜県養老町長



大橋 孝

- ◇養老町は、今年度、養老改元1300年祭を開催しています。10月22日には、養老JCT～養老ICの開通を控えており、10月28日から始まる当祭のメインイベント前に開通することは喜ばしいことです。
- ◇養老JCT～養老ICの開通を控えた平成27年には大手物流会社の総合物流センターが整備されました。また、直売所とレストランが併設された野菜工場や大型商業施設の進出が決まるなど、ストック効果が現れています。さらに、来年度は養老SAのスマートICの開通も控え、既に様々な企業からの問い合わせがあり、道路の効果を身に染みて感じています。
- ◇本会議は本日で2回目の開催となりますが、今後も本会議の場を活用し、県境を越えた周辺地域とのさらなる連携、産業発展、交流人口の拡大など、ストック効果を最大限発現できるように鋭意努力していきたいと思っております。

<閉会挨拶> 三重県県土整備部長



水谷 優兆

- ◇本会議に参加いただきましたこと、お礼申し上げます。
- ◇6名の方より意見発表・事例紹介をいただきましたが、西回り沿線では地域の資源を活かす取組や生産性向上に取り組んでおり、全線供用への期待が大きいと感じました。しかし、現状の道路を前提とした取組には限界があるため、国土交通省、NEXCO中日本の皆様におかれましては、1日も早い全線開通をお願いしたいと思います。
- ◇岐阜県、三重県としても、本日はいただいたご意見をもとに、攻めの地域づくり、観光振興といった、さらなる取組を進めていきたいと思っております。今後ともご協力をお願いします。

<意見交換> 『観光連携・まちづくりの取組について』

- ◇(仮称)高富IC周辺では、**活力あるまちづくりの拠点としてバスターミナルの整備を進めており**、パーク&ライドも検討しています。また、現在、土地有効活用調査研究プロジェクトを立ち上げて、企業誘致を進めています。**既に本社機能の移転が決定した企業等、東海環状の開通を見据えた効果**が現れています。(山県市)
- ◇早期全線開通に向けた機運を高めるとともに、地元経済界が建設促進に熱心に取り組む姿をアピールすることを目的に、**平成28年12月に西回りのシンポジウムを開催しました**。パネルディスカッションでは、東海環状自動車と鉄道を組み合わせた観光振興策等についての意見交換を行いました。平成29年度においては、全国への情報発信とともに、**観光連携、まちづくりにつながる事業を検討しています**。(大垣商工会議所)
- ◇四日市市は製造業が盛んであり、**道路整備による生産性向上に期待しています**。観光連携として、四日市港では昨年度から外国客船誘致に取り組んでいます。近隣地域と連携し、入港から出港までの間に行ける範囲での観光メニュー、物産の発掘、紹介を行っています。**沿線自治体の観光地と連携しながら客船誘致に取り組んでいきたいです**。そのためにも、早期開通を希望します。(四日市商工会議所)
- ◇昨年度、東員ICが開通し、浜乙女の工場が立地し、新たな雇用も生まれました。平成30年度の(仮称)大安IC開通に向け、**物流機能ポテンシャルのさらなる向上をアピールして、企業誘致に取り組んでいきたいです**。(東員町)
- ◇道路はできたら終わりではありません。**攻めの地域づくりが必要で、あわせて何を整備するのが重要**です。それにより、民間の戦略が進みます。観光の視点では、ネットワークがつながることによって今までとは違った人々との結びつきが考えられます。それを上手く睨んだ**計画を共に作り、こういった会議の場で、話題提供、情報共有しながらお互いがwinとなるような投資を一緒に行って参りたい**と考えています。(中部地方整備局)

<意見発表>

岐阜県養老町 企画政策課長 川地 憲元 氏



- ◇養老JCT～養老ICが開通することによって**町民も期待しているとともに、企業からの注目度も高い**。
- ◇この節目の年を、本町のさらなる発展、飛躍の契機と捉え、**地域住民や各種団体、事業者との協働により**、イベントを開催し、**岐阜県内外からの交流人口の拡大や地域活性化を図ってきたい**です。
- ◇今後、節目の行事を一過性のイベントではなく、養老町の活性化に繋げていきたいです。

いなべ市商工会 会長 三輪 秀孝 氏



- ◇自動車関連企業も多く、平成30年度には工作機械メーカーの工場が新設予定です。
- ◇東員ICから、(仮称)大安IC、(仮称)北勢ICとつながることにより、**生鮮食品の流通、物流コストの削減や時間短縮効果、観光ルートの拡大などを期待しています**。消費や商圏拡大により、発展につながるよう各事業を展開していきたいです。
- ◇そのため、**開通年度のめどをできるだけ早く立てていただきたいです。全線開通により、より効果が発揮されるため、早期開通を強く要望します**。

岐阜長良川温泉旅館協同組合 専務理事 永瀬 章 氏



- ◇旅行実態調査によると、旅行先への主な交通手段として、岐阜県・三重県共に半数近くの方が自家用車を利用していることから、**観光の観点からも交通網の整備は重要**です。
- ◇東海環状自動車道全線開通によって、**西側からのアクセスが増え、観光客・宿泊客、周遊観光の増加が見込まれ**、東海北陸道と同様の効果に期待しています。
- ◇観光は成長戦略の大きな柱の1つであり、地方創生の切り札であると確信しています。早期全線開通を組合として切望しています。

<先進的まちづくり事例紹介>

岐阜県美濃加茂市 建設水道部長 池田 正幸 氏



- ◇蜂屋台工業団地(15.8ha)は平成14年に完成し、平成21年3月の売売まで7年かかりましたが、中蜂屋工業団地(30.3ha)は平成24年12月の完成から、H26年5月の**1年半で売売し、東海環状の効果を感じました**。
- ◇**ストック効果としては、雇用人口は3倍、人口は1.3倍に増えました**。県内人口は減っている中、美濃加茂市はゆるやかに増加しており、2040年までは増加傾向にあります。
- ◇工場閉鎖による雇用者のリストラ問題が生じたこともありましたが、**他企業の立地により雇用を守ることができました。これらも、東海環状があつてこそだと実感しました**。

三重県いなべ市 副市長 吉田 桂治 氏



- ◇**新庁舎を(仮称)北勢ICの脇へ建設、その隣ににぎわいの森(商業施設)の建設を予定**しています。
- ◇にぎわいの森は、経済効果を36億円と考えていますが、つながりの場、人づくり、新たな価値の創造、協働の場、シビックプライドの醸成が大切と考えています。名古屋等の人気店にいなべ市へ出店してもらうだけでなく、**まちづくりの拠点、きっかけの場としたいです**。
- ◇地方創生の風を好機ととらえて取り組み、地域資源を発掘し、大都市から地方への人の流れを変えていきたいと考えています。

岐阜県大野町 町長 宇佐美 晃三 氏



- ◇(仮称)大野・神戸ICは平成31年度に開通予定であり、**発展の最大のチャンスととらえ**、ICより300m程の場所に開設予定の**道の駅「パレットピアおおの」の整備を進めている**ところ です。県内最大規模で、地域振興施設、トイレ・情報館、子育て支援施設等を設置予定です。
- ◇工業拠点の整備は、テックパーク大野として、2区画(2.9ha、3.2ha)を整備しており、H30.6には分譲開始予定です。**(仮称)大野・神戸ICからは7キロ、(仮称)糸貫ICからは6キロの距離にあり、どちらのICも利用でき利便性はよいです**。